

議会だより



夢はレーサー!
「こども号」に乗ったよ!

7/15 チーム・タイザン・サードの
スポーツカー乗車体験会

6月議会定例会報告 2～3

特集・川俣高校生が視た議会

..... 4～5

町の課題を問う（一般質問）..... 6～10

委員会活動報告 11

町民の声 12

かかわる条例等 議案9件を審議・可決



6月定例会

6月定例会は、6月1日から7日までの7日間の会期で開かれ、一般議案9件、契約1件、補正予算2件、人事案件1件が提案されました。審議のうえすべて原案のとおり可決しました。

一般質問は、議員5人が登壇し、当局の考えを質しました。(※7-11P)

6月2日の議会中継を川俣高校3年生が公民の授業で傍聴し、その感想が議会に寄せられました。(※4-5P特集)

主な条例の制定等

議案第48号

●川俣町農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例

概要

法律の改正により、農業委員会委員の定数を現行の16名から8名とし、また、新たに農地利用最適化推進委員の定数を11名(計19名)とすることを定める条例を制定しようとするもの。



農地のバトリールをする農業委員

議案第49号

●特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

質問

農業委員と農地利用最適化推進委員とは、任命の方法、議決権の有無など異なるのに、報酬が同額というのは特異である。どのような考えで提案したのか。

(遠藤宗弘議員)

答

権限と責任は農業委員の方がありますが、結果的に仕事の量は同等と捉え、同額としたところです。(総務課長)

議案第55号

●川俣町山木屋出張所設置条例を廃止する条例

概要

山木屋地区「とんやの郷」の行政サービスコーナーに山木屋出張所の機能を移転するため、既存の設置条例を廃止しようとするもの。

議案第50号

●川俣町消防団設置等に関する条例の一部を改正する条例

概要

既存の消防団に加え、役場職員、消防団OBなどによる「機能別消防団員」制度を導入するため条例の一部を改正しようとするもの。



訓練する消防団員機能別消防団により体制が強化されます

農業委員、消防団など、暮らしに

予算の補正

概要

福島県補助金の活用によるプレミアム付き事業再開・帰還促進券の発行（1億3158万7千円）、新中町復興公営住宅集会所建設のための測量調査委託料（1921万8千円）、など、総額3億7千万5千円の増額補正。

質問

①新中町復興公営住宅集会所の概要は。②井戸掘削工事は今後も追加できるのか。③屯所整備費の補正486万1千円の理由は。

（高橋清美議員）

答

①旧川俣精練第2貯水池を解体撤去し、29、30年度にかけ120平米の面積で建設する予定です。②国の加速化交付金の対象になる間、追加が可能と考えます。③東福沢消防コミセンの追加工事に係る増額補正です。（企画財政課長、原子力災害対策課長、総務課長）

人事案件

次の方の選任について同意しました。

（全員再任。任期は平成29年7月1日から2年間）

- ・安齋 康男氏（中丁）
- ・齋藤 幸子氏（鶴沢字油田）
- ・齋藤 金男氏（大綱木字前平）
- ・佐藤 喜一氏（福島市腰浜町）
- ・中里 真氏（福島市笹谷）

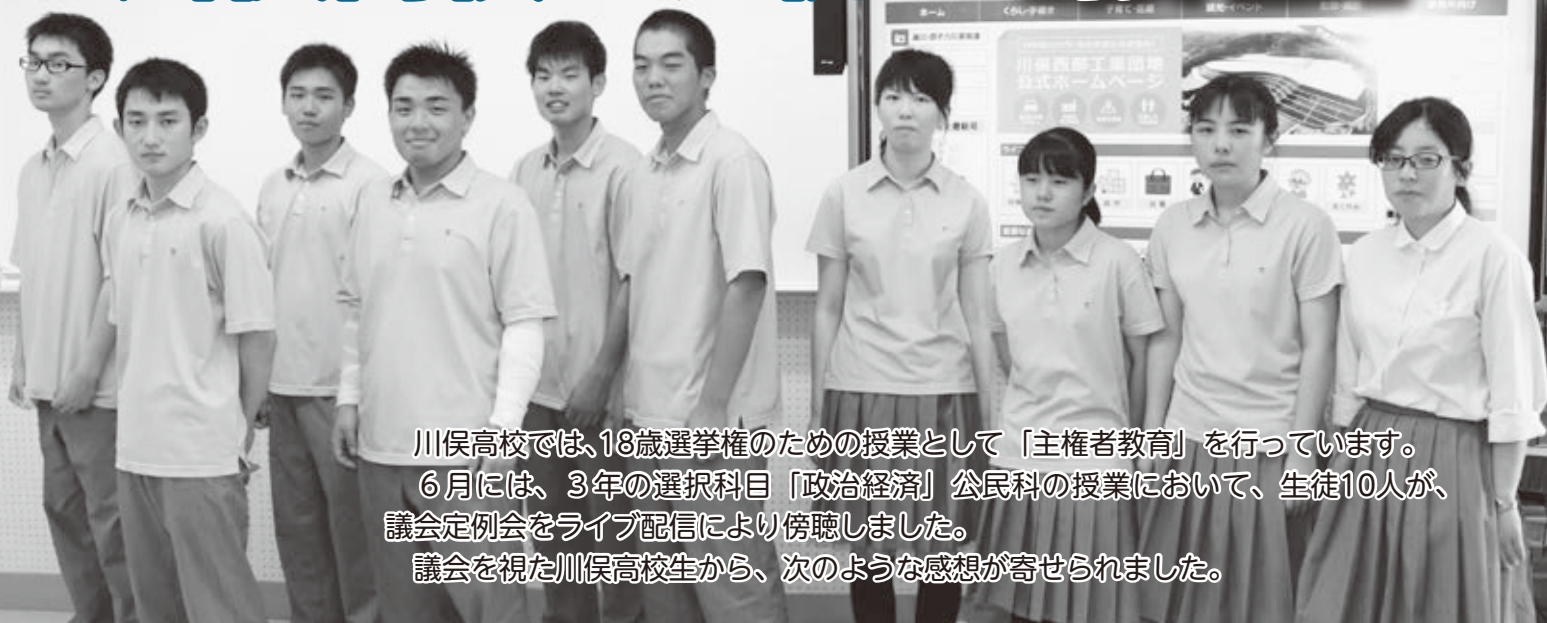


新中町の復興公営住宅

6 月 定 例 会 審 議 結 果（平成29年6月1日～7日）

議 案	件 名	審 議 結 果
第47号	工事請負契約の締結について（町道新関前・細越線の災害復旧工事請負契約）	可決（全会一致）
第48号	川俣町農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例	可決（全会一致）
第49号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決（全会一致）
第50号	川俣町消防団設置等に関する条例の一部を改正する条例	可決（全会一致）
第51号	川俣町税条例の一部を改正する条例	可決（全会一致）
第52号	川俣町税特別措置条例の一部を改正する条例	可決（全会一致）
第53号	川俣町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可決（全会一致）
第54号	川俣町立小学校及び中学校条例の一部を改正する条例	可決（全会一致）
第55号	川俣町役場山木屋出張所設置条例を廃止する条例	可決（全会一致）
第56号	町道路線の認定について	可決（全会一致）
第57号	平成29年度川俣町一般会計補正予算（第2号）	可決（全会一致）
第58号	平成29年度川俣町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	可決（全会一致）
第59号	川俣町情報公開審査会委員の任命について	同意（全会一致）

川俣高校生が視た^み議会



川俣高校では、18歳選挙権のための授業として「主権者教育」を行っています。
6月には、3年の選択科目「政治経済」公民科の授業において、生徒10人が、
議会定例会をライブ配信により傍聴しました。
議会を視た川俣高校生から、次のような感想が寄せられました。

町には様々な問題があり、町全体で、そして自分でも考えていかなければ
ならないと感じた。

両親も川高卒業生です。生徒が減ってこれからどうなるんだろうと話し
合っていました。質問でも川高が話題になり、関心を持って、しっかり聴く
ことができました。これから生活をしていく中で、自分もまちのことについ
てしっかりと考えていきたいと思いました。



浦 住 瑠 衣 さん

議会で話し合われている内容が、どれだけ反映されて、どれだけ町の役に
立っているのか気になった。

議会で話し合われている内容は、確かに復興やまちの活性化についてのこ
とですが、話し合いの結果どのような影響が生まれるのだろうと思いました。
自分たちでも少子高齢化の対策のためにできることがないか話し合っていま
す。シルク、川俣シャモ、コスキン、まちのイベントなどを盛り上げて、小
さなことからでも活性化できたらと思います。



菅 野 龍 司 さん

川高生もイチ主権者として育っています！

川俣高校の主権者教育を担当しています。
昨年は、模擬投票の実践や、東京大学大学院の特任研究員で「ふくしま学
びのネットワーク事務局長」の前川直哉氏を招いて、模擬請願書の書き方な
どについての授業を行ってきました。今回は、より身近な町議会について、
インターネット中継で議会を傍聴しました。



公民科・片平美紀子 教諭

質問と回答のひとつひとつがばらばらで、一貫性がないように感じた。質問する側も指摘したうえで改善策を提案してほしかった。

一般質問では、次第にいろんな切り口で細かい質問があり、町側のひとりひとりが回答できず、全体とするとばらばらのことを話し合っているように感じました。町側には「まちをこうしたい」という姿勢が大切だと思います。

また、質問者側にも、問題点を指摘したうえでその人なりの対策を示してほしいかったです。



菅野 龍佑さん

「検討中です」「・・・のあとに行います」など町の回答に繰り返されていた。実際に行動を起こして、さまざまな対策をとってほしいと思った。

町の回答で繰り返される言葉から、消極的な姿勢を感じた。具体的にいつまでに検討し、いつになったらできるのか聞きたかった。まちの問題で関心があるのは少子高齢化です。シャッター街の解消が人口減少対策につながるのではないかと考えています。



小林 理央さん

思っていたよりも、一般的な話題や、関心ごとを話し合っているのではないかと感じた。

初めて議会を傍聴しましたが、繰り返しや、どのような行動を引き出したのかかわからない意見交換がありました。質問しても、あまり意味がないと思うものや、回答しづらいだろうと感じる内容のものもありました。もっと調べて、突っ込んだ議論をしてほしかったです。



佐藤 香澄さん

18歳で選挙権。どんな点で候補者を選ぶといいか、考えるきっかけになりました。

公民科の授業で学んでいますが、自分の選挙権をどう使ったらいいか考えています。議員の方のどのような点を評価して、だれに投票するのがいいのか、実際に議会を傍聴して、ますます考えるようになりました。



佐藤 沙耶さん

皆さんの関心に応え、信頼される議会運営に努めます

町の若者、特に川俣高校生に議会中継を見ていただき、大変うれしく思います。また、今回は、主権者として、町の課題に関心を持ち、率直な意見を寄せていただき、感謝いたします。我々まちの代表として、真摯に受け止めさせていただきます。

自分で考え、行動する。まちの若者のこれからの成長に期待します。

町議会議長 高橋 道也

